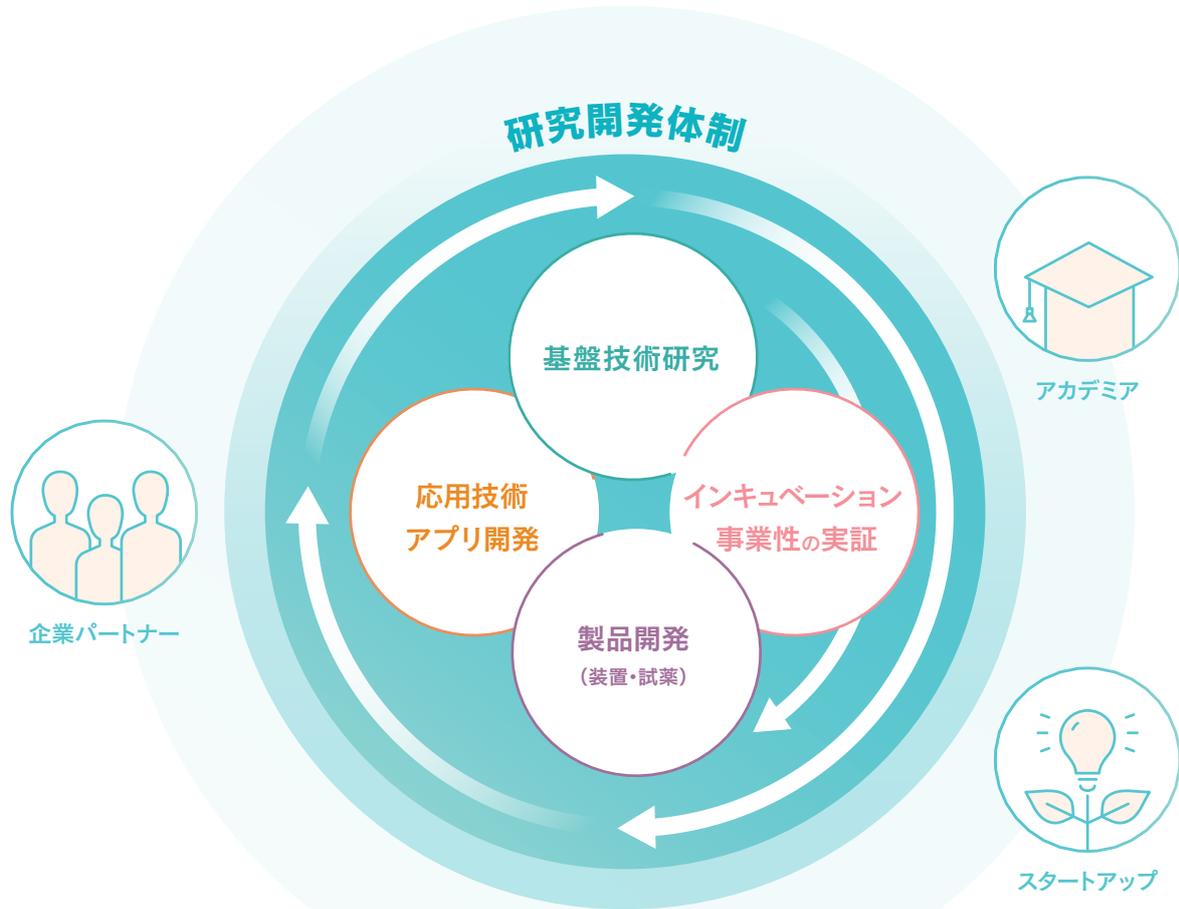


イノベーションを推進する研究開発体制と共創プロセス

社是「科学技術で社会に貢献する」に基づいて社会課題と向き合い、
基盤技術研究や製品・アプリケーションの開発を行っています。

またスタートアップとの連携を含めた社外パートナーとの共創を積極的に進め、革新的・先進的な技術・製品の開発や
新たなサービスの社会実装に取り組み、迅速な事業化のためにインキュベーションを強化していきます。



新たな価値を創出するための核となる先進的で独自性の高い技術

先端分析



イオン (MS)・X線・光・量子などの分野で世界初の技術を開発して顧客課題や社会課題の解決に貢献することを目指します。また先端分析技術を既存事業へ展開するとともに新領域への展開・融合を図り、新しい製品・サービスの提供に繋がります。

革新バイオ



技術革新が著しいバイオ領域で高度な技術の獲得・開発を行って、顧客課題や社会課題の解決に繋がっていきます。革新バイオ技術によって予防医療や早期診断、再生医療、バイオプロダクトなどの領域で新しい顧客価値を生み出すことを目指します。

脳五感



脳五感計測技術として、低拘束での脳機能計測や五感刺激と連携させたバイオフィードバックによる介入技術、またヒトのパフォーマンスを向上させる技術や心理面の増進をサポートする技術などの脳と五感の複合計測の技術開発を行います。

AI



AI技術とロボティクス技術の融合により、分析・計測・診断・検査の高度化や自動化を支え、AIを活用した信号処理・画像処理の研究開発を行うことで高度な製品・サービス・新事業を創出し、顧客課題や社会課題に対するソリューションを提供します。

より良い社会に向けたイノベーションの創造に貢献

応用技術 アプリ開発

社会における課題やニーズは、さまざまな国・地域の数だけ存在し、ますます多様化しています。当社グループは、それらの課題やニーズを顕在化し、研究課題までブレイクダウンすることで、お客様の課題解決に幅広く貢献しています。

また、新たな技術やイノベーションの創出のためには、課題やニーズが発生する各地域のパートナーと共に取り組むことが必要不可欠です。そのため、世界各地でさまざまなパートナーと共同開発やイノベーション創出に取り組んでいます。特に米国では、3拠点のR&Dセンターを通じて、製薬・ヘルスケア関連企業や環境分野などの顧客ニーズの的確な把握と、製品・技術の開発を加速します。米州・欧州・中国・アジア・日本の各拠点で先進的顧客と共同研究を推進することで、素早く成果に結び付けています。



アプリケーション技術開発/共創事例

米州

米製薬団体との共同開発で研究開発現場のニーズを反映したセミ分取超臨界流体クロマトグラフを開発



質量分析技術を用いた新しいがん免疫療法を米プロビデンスがん研究センターと共同研究



欧州

仏トタル社および欧州2大学との共同研究によりバイオ燃料の含酸素成分を選択的に検出する世界初の新製品を開発



中国

大連化学物理研究所とのオミックス共同実験室、中国科学院生態環境研究中心との環境分析など



アジア

シンガポール科学技術庁や現地大学・顧客と臨床分野や食品安全、環境関連の共同研究を推進



日本

大阪大学等と培養肉の製造技術の研究開発と社会実装に向けた取り組み

